

大阪府医師政治連盟活動報告 平成28年4月～29年3月

○支部長打合せ会① (28年4月22日開催)

- (1) 「自見はなこ先生を励ます会 (3月31日)」報告の件
- (2) 自見はなこ後援会「ひまわり会」の件
- (3) 「自見はなこサポーター名簿」獲得状況の件
- (4) 医師政治連盟支部会合開催の件
- (5) ブロック集会開催の件

○支部長打合せ会② (5月27日開催)

- (1) 「自見はなこサポーター名簿」獲得状況の件
- (2) ブロック集会報告の件

○支部長打合せ会③ (6月17日開催)

- (1) 自見はなこ後援会「ひまわり会」の件
- (2) 「自見はなこサポーター名簿」獲得状況の件

○支部長打合せ会④ (29年1月27日開催)

29年度連盟交付金支給条件見直しの件 (連絡)

○公明党大阪府本部「政策要望懇談会」(9月6日開催)



標記懇談会が同党で開催され、茂松茂人委員長はじめ、本連盟役員が参加。公明党大阪府本部所属議員と意見交換を行うとともに、主に医療に関して施策拡充を要望した。

○大阪府選出自民党国会議員との懇談会 (9月18日開催)



本連盟役員と大阪選出の自由民主党所属国会議員が、大阪市内のホテルで標記懇談会を行い、意見を交換した。国政・府政に対し、医療施策の拡充を強く求めた。

○執行委員会 (29年3月30日開催)

- ◆報告
 - (1) 28年度大阪府医師政治連盟事業報告の件
 - (2) 28年度会費収納状況報告の件
- ◆協議
 - (1) 27年度大阪府医師政治連盟歳入歳出決算の件
 - (2) 29年度大阪府医師政治連盟事業計画の件
 - (3) 29年度大阪府医師政治連盟会費賦課徴収の件
 - (4) 29年度大阪府医師政治連盟歳入歳出予算の件
 - (5) 第101回定例委員会提出議題の件
 - (6) その他

○第101回定例委員会 (同日開催)

執行委員会に続き開催。正・副議長選出、副委員長・執行委員の委嘱と会計責任者・同職務代行者を選任したほか、会計監督者を選出した。

- ◆報告
 - (1) 28年度大阪府医師政治連盟事業報告の件
 - (2) 28年度会費収納状況報告の件
- ◆議事
 - (1) 27年度大阪府医師政治連盟歳入歳出決算に関し承認を求める件
 - (2) 29年度大阪府医師政治連盟事業計画に関する件
 - (3) 29年度大阪府医師政治連盟会費賦課徴収に関する件
 - (4) 29年度大阪府医師政治連盟歳入歳出予算に関する件

大阪府医師政治連盟

大阪府医師政治連盟は、医師会の事業を達成するために必要な政治活動を行うことを目的とした団体です。

詳しい情報や入会方法はホームページをご覧ください。

<http://osakaiseiren.jp/system.html>

大阪府医師政治連盟

検索



平成28年6月17日、羽生田たかし参議院議員を招き、郡市区等医師会長を前に中央情勢を報告いただいた



平成29年1月5日、大阪府医師会新春互礼会を開催。大阪選出衆参国會議員ほか、大阪府議會議員・大阪市議員などが訪れ、賀詞を交換した。羽生田議員(左)と自見議員も壇上からあいさつ

私は昭和42年4月に住吉区対田町で、約10坪ぐらいの小さな借家を借りて開業いたしました。本年4月1日で、医院開設50周年を迎えることが出来たのは、皆様方の絶大なる御支援の賜と感謝しています。

ちょうど開業した翌年に、「健保改悪反対全国保険医総決起大会」を掲げて全国の開業医会員を中心に保険医総辞退の一斉運動が行われました。その頃の日本医師会長は武見太郎先生でした。吉田茂総理大臣の親戚にあり、絶大なる政治力とカリスマ性を持っておられ、時の厚生大臣も頭が上がないくらいでした。

連盟員寄稿

医師政治連盟への期待

三橋二良 (住吉支部)

当時、日医選出の国会議員が3名おられました。国政選挙の時は、3人とも100万票以上の票を獲得して当選していました。

当時は日医会長を先頭に全国の医師会が一致団

結して行動していたように思います。その結果、開業医には租税特別措置法が適用され、所得の72%が経費として認められ、28%が所得として税金の対象となる仕組みとなっていました。また、

薬価差益が40〜50%ぐらいあって、薬の種類によっても20万票台であり、ベテランの国会議員から「医師会は選挙の時に奥さんや従業員に票を入れて笑われることがありません。開業医の選挙、政治に対する関心は地に落ちてしまったと言っただけではありません。国政選挙で当選した人の票が多いほど、国会で医師会の要望したことが認められやすくなり、スムーズに議論が進むことは常識です。国政選挙などに医師が無関心になることは、自分自身の首をしめるようなものです。

今、厚生労働省・財務省で検討されている近未来の医療福祉政策については、我々が無関心にならなければならない。日本医師連盟・都道府県医師政治連盟の役員は、日夜涙ぐましい努力をして政治家に太いパイプを維持しようとしています。すべての開業医がそのことを認識してほしいと思います。医政に無関心であっては将来に大きな悔いを残すことになる。医師連盟の皆さんが中心となり、一致団結して医政に関心を持ってもらえるよう頑張ろうではありませんか。私も微力ながら責を果たす覚悟でございます。